

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

款：農林水産業費 項：農地費 目：農地事業諸費

款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

款：流域下水道事業費 項：建設費 目：建設費

款：水道事業費用 項：営業費用 目：原水及び浄水費

事業名	新	岐阜県設計積算システム テレワーク化事業費
------------	----------	------------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111 (内 3630)

E-mail: c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費	9,980千円 (前年度予算額：)	0千円)
県土整備部	5,766千円 (前年度予算額：)	0千円)
農政部	1,775千円 (前年度予算額：)	0千円)
林政部	1,775千円 (前年度予算額：)	0千円)
下水道課	221千円 (前年度予算額：)	0千円)
水道企業課	443千円 (前年度予算額：)	0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,980	0	0	0	0	0	0	0	9,980
決定額	9,980	0	0	0	0	0	0	0	9,980

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県設計積算システムとは、岐阜県農政部、林政部、県土整備部、都市建築部にかかる建設工事や調査設計業務委託等の積算業務を行うシステムであり、積算精度の向上及び積算事務の負担軽減など事務の効率化を実現している。

平成30年度より第6次積算システムを本運用してきたが、コロナ禍でのいわ

ゆる三密を避けた労働環境での積算など、当初想定されていなかったテレワーク化への対応等が必要である。

(2) 事業内容

現行の積算システムのテレワーク化は、システムを改修し最新版 OpenJava (無償ソフトウェア) を導入することで実現できる。OpenJava の最新版を導入することでセキュリティの脆弱性等をついた情報漏洩対策等ができるうえ、情報企画課が提供する在宅 PC 並びに、職員用 PC での設計積算システムの運用が可能である。

在宅 PC 及び職員 PC で積算が行われることにより、在宅、自席及び会議室での積算用務の実施が可能となり、三密を回避した職場環境が達成されるうえ、事務の効率化をもたらす。

(3) 県負担・補助率の考え方

県発注の建設工事の予定価格を算定するシステムであるため、所要経費は県負担となる。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	9,980	システム改修料
合計	9,980	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

コロナ社会を生き抜く行動指針 (岐阜県令和 2 年 5 月 1 5 日 策定)

(2) 国・他県の状況

働き方改革実行計画において、柔軟な働き方がしやすい環境整備の一環としてテレワークが位置付けられている。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

発注者が利用するシステムであるため、県が主体となっていくべきである。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
年度内において、積算システムに最新版 OpenJava（無償ソフトウェア）を導入し、在宅PC及び職員PCにて積算システムを運用できる環境を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜県設計積算システムをテレワーク化するための改修を行う委託費であり、特に指標となる数値はない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>OpenJava の最新版を導入することでセキュリティの脆弱性等をついた情報漏洩対策等ができるうえ、情報企画課が提供する在宅PC及び職員PCでの設計積算システムの運用が可能である。</p> <p>在宅、自席及び会議室での積算用務の実施が可能となり、三密を回避した職場環境が達成されるうえ、事務の効率化をもたらす。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>テレワーク化への対応に伴う改修は、単年度で終了する。</p> <p>岐阜県設計積算システムは、建設工事発注において不可欠であり、今後も継続して利用していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	